

2017年第3回 IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2017年12月4日（月） 14:00～17:50

場所：大手町ファーストスクエアカンファレンス Room D

出席者：津田 Chair、尾上 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、
筒井(代理)、中沢、大石、笹瀬、鈴木、矢野、石橋、水落、武田（代理）、
野口（代理）、中西、浅野、藤島、大越、桑原、原崎、青山、白川、滝嶋
橋本、西宮、南、西原、(敬称略、順不同)

オブザーバ：菊池、百武（敬称略）

事務局：加藤、福岡 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料（1）
2. 2017年 Japan Council 活動報告 資料（2）
3. 2017年 Japan Council 決算予想 資料（3）
4. 常設委員会 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案 資料（4）
 - 4-1 Chapter Operations Committee
 - 4-2 Student Activities Committee
 - 4-3 Awards Committee
 - 4-4 Industry Promotion Committee
5. Ad-Hoc 委員会 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案 資料（5）
 - 5-1 Long Range Strategy Committee
 - 5-2 History Committee
 - 5-3 R10 Meeting2017 及び R10 設立 50周年・旧東京支部設立
60周年記念イベント実行委員会【審議】
6. Affinity Group 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案 資料（6）
 - 6-1 Women in Engineering
 - 6-2 「2018 IEEE WIE International Leadership Summit」への Proposal
【審議】
7. JC Coordinator2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案 資料（7）
 - 7-1 MD Coordinator
 - 7-2 YP Coordinator
 - 7-3 LMAG Coordinator
8. 各支部 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案 資料（8）
9. 2018年 Japan Council 活動計画【審議】 資料（9）
10. 2018年 Japan Council 予算【審議】 資料（10）

11. その他

資料 (11)

- 11-1 MGA SDEA 委員会の活動状況
- 11-2 国際会議の Technical Co-Sponsorship (TCS)に関する Fee について
- 11-3 IEEE JC/東京支部の配信サーバについて
- 11-4 Sections Congress 2017 等参加報告
- 11-5 IEEE R10 Meet、及び R10 50 Year Celebration Luncheon Ceremony
参加報告
- 11-6 2018 年 Fellow 昇格者

議事：

0. 津田 Chair ご挨拶

今年は3月に大きなイベントがあり、各支部に大変ご協力いただいたことに感謝が述べられた。来年度計画の策定について、予算を決める際には大きな方向性をもって考えて頂きたい。予算は有効に活用するよう進めていきたいとのご挨拶があった。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料(1)

杉江 Secretary より前回理事会(2017年7月開催)の議事録案について説明があり、異議なく承認された。

2. 2017年 Japan Council 活動報告 資料(2)

杉江 Secretary より Japan Council の活動報告として理事会の開催や常設委員などの活動についての説明があった。

3. 2017年 Japan Council 決算予想 資料(3)

眞田 Treasurer より 2017年決算予想について説明があった。また、積立金より旧東京支部60周年記念イベントへの支出、信越支部設立10周年記念式典へのサポートを行うことについて説明があった。IEEEの会計年度はCYでありその年に支払うこと、運営費として年間予算のある程度の額を保留すること等について議論を行った。

4. 常設委員会 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案

4-1 Chapter Operations Committee 資料(4-1)

藤島 Chair から 2017年活動報告および 2018年活動計画の報告があった。Chapter 支援費については各 Chapter が、支援費を要求するときに Chapter の残高を申請書に明記し、申請することの提案があり、今後申請書に明記することとなった。また、2017年の収支が締まった段階で、各支部は傘下の Chapter の残高をまとめ、次回の理事会を目安に報告することとなった。

4-2 Student Activities Committee 資料(4-2)

大越 SAC Chair より 2017年活動報告および 2018年活動計画の報告があった。来年度は同様の活動を継続する他、SPAx(Student Professional Awareness)開催を計画していることが説明された。JC SAC で SB 設立のガイドラインを作成することとなった。

4-3 Awards Committee 資料(4-3)

桑原 Chair より 2017年活動報告および 2018年活動計画の報告があった。Awards Committee の活動状況、2017年 Medal、Recognition、TFA 受賞者の推移状況、各支

部での候補者の掘り起しの依頼、今後の予定、2018年度の予算について説明があった。桑原 Chair は来年も引き続き本部 Award 関連の Committee 委員を継続するとの報告があった。

4-4 Industry Promotion Committee 資料(4-4)

原崎 Chair より 2017年活動報告として、各種支援活動、MAW2017の支援活動について説明があった。IPCの2018年活動計画として、MAW2018支援、ワークショップの開催支援について報告があった。

5. Ad-Hoc 委員会 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案

5-1 Long Range Strategy Committee 資料(5-1)

尾上 Chair より JC LRSC 委員会の開催と内容の報告があった。支部の設立記念イベントへの対応、IEEEの日本語名称、TISPについて説明があった。2018年計画として、各種活性化施策や会員支援について継続して実施するとの説明があった。IEEEの日本語名称について現時点では、本提案の「アイトリプリー」を日本語名称とすることです承された。

5-2 History Committee 資料(5-2)

白川 Chair より報告があった。Histelcon 2017の開催状況、HC委員会の開催状況について説明があった。また、来年度は、広島でのHC委員会の開催を予定しているとの報告があった。Histelcon 2019はグラスゴーで開催される。

5-3 R10 Meeting2017 及び R10 設立 50周年・旧東京支部設立 60周年記念イベント 実行委員会 【審議】 資料(5-3)

杉江 Secretary より報告があった。収支の確定値の報告、Web掲載などすべて完了したとの報告があり、これにより Ad-Hoc を終了するとの説明があった。本案件について異議なく了承された。

6. Affinity Group 2017年活動報告、2018年活動計画案および予算案

6-1 Women in Engineering Affinity Group 資料(6-1)

矢野理事 (WIE Chair) より報告があった。本年度の活動報告、来年度計画および予算について説明があった。2018-2019年は現 Secretary の野田夏子氏を Chair とする新体制となることが報告された。

6-2 「2018 IEEE WIE International Leadership Summit」への Proposal (審議) 資料(6-2)

矢野理事 (WIE Chair) より説明があり、提案通り応募することが了承された。

7. JC Coordinator 2017 年活動報告、2018 年活動計画案および予算案

7-1 MD Coordinator 資料(7-1)

橋本 MD Coordinator から報告があった。3月の理事会前に、Membership Development セミナーを WebEX で各支部の MD Chair、Section Chair などを対象に開催し、結果を JC 理事会(3/19)で報告することとなった。なお、関連する問合せを年明けに理事会メンバーに行うので、協力のお願があった。

7-2 YP Coordinator 資料(7-2)

西宮 YP Coordinator から 2017 年の活動について報告があった。また、本年の R10 YP Outstanding Volunteer in Academic Award を西宮理事が受賞した。来年度計画と予算案として、エッセイコンテストや各種会議への参加費を予定している旨、説明があった。

7-3 LMAG Coordinator

青山 LMAG Coordinator より報告があった。本年度は日本で 3 つ目の LMAG が名古屋支部に設立された。また、東京 LMAG に対し、4/15 が締切りとなっている IEEE Life Members Affinity Group Achievement Award に応募するよう東京支部に依頼があった。R10 LMAG は日本がイニシアチブをとって進めているとの説明があった。

8. 各支部 2017 年活動報告、2018 年活動計画案および予算案

8-1 札幌支部 資料(8-1)

筒井 Secretary (代理)より報告があった。総会、第 1 回理事会を開催した。例年通り、理事会、共催事業、表彰事業、各種講演会を開催した。会員数増強の施策や R10 Meeting、IEEE Sections Congress 2017 への参加が報告された。来年度活動計画としては、総会や理事会の開催、主催事業、各種講演会の開催などが述べられた。

8-2 仙台支部 資料(8-2)

中沢 Chair より報告があった。本年度の活動報告、来年度計画および予算について説明があった。来年度は、ホームページのリニューアル、垂直磁気記録のマイルストーン提案、新 Fellow 記念講演会の開催や SAC のイベントなど各種活動を主催する。また、来年 1 月から新役員体制になることが報告された。中沢 Chair より MAW2019 については企業が多くないことが懸念されるが、震災からの復興をキーワードとして考えていきたいとの説明があった。

8-3 信越支部 資料(8-3)

大石 Chair より報告があった。本年は、支部役員会の開催、R10 Meeting への参加、IEEE セッション講演会の開催を行った。また、10 周年記念事業を 12/22 に開催する予定である。来年度活動計画として、講演会・講習会、学生増員、学生国際会議参加費補助、シニアメンバーの増員、役員会の開催を計画しているとの説明があった。

8-4 東京支部 資料(8-4)

笹瀬 Chair より報告があった。本年度、理事会、支部総会、支部主催講演会、学生活動、Affinity Group 活動を実施した。来年度活動計画として、総会及び理事会の開催、支部講演会や SB の支援、若手会員及び Life 会員向け活動、認定及び表彰支援の実施計画の説明があった。また、2018 年に YP が 10 周年を迎えるとの報告があった。

8-5 名古屋支部 資料(8-5)

石橋 Chair より報告があった。本年は、役員会・理事会、講演会、研究会、国際会議等、MAW2017 の開催、LMAG 設立、支部 Chapter 活動、YP、SB 活動の報告があった。来年度活動計画として、役員会・理事会の開催、会員サービスの拡充、Chapter や SB の新設、WIE-AG の新設を予定していることについて報告があった。

8-6 関西支部 資料(8-6)

武田 Secretary より報告があった。本年度の活動報告、来年度計画および予算について説明があった。来年度活動計画として、総会・理事会の開催、講演会、R10 Meeting 等への派遣、会議の協賛、WEB ページ・電子メールでの情報発信を行うとの説明があった。

8-7 四国支部 資料(8-7)

野口 Vice Chair より報告があった。本年度の活動報告、来年度計画および予算について説明があった。来年度活動計画としては、役員会・理事会の開催、道後のシンポジウムなどの研究会・学術大会の主催・共催、学生向け支援と会員の拡充していくことなどの説明があった。

8-8 広島支部 資料(8-8)

中西 Chair より報告があった。2017 年の活動報告および来年度活動計画として、総会・理事会の開催、講演会・シンポジウムの開催、HISS 前日に支部設立 20 周年記念イベントの開催などの計画の説明があった。支部より設立 20 周年を HISS と合わせて行うことでこの記念イベントとしたいとの要望があり、了承した。また、このイベントの特別講演を JC をお願いしたいとの要望があった。

8-9 福岡支部

資料(8-9)

浅野 Chair より報告があった。活動報告として、理事会、学生表彰、講演会等を開催した。来年度活動計画としては、3月のマイルストーンの贈呈式、MAW2018開催、理事会の開催、学生向け表彰事業、講演会等の説明があった。

9. 2018年 Japan Council 活動計画【審議】

資料(9-1)

杉江 Secretary より報告があった。活動計画として、理事会の開催、Section Assessmentの還元(13%)、企画の提案と Fund の獲得に注力する他、各種委員会の活動も継続的に実施することの説明があり、了承された。

10. 2018年 Japan Council 予算【審議】

資料(10-1)

真田 Treasurer より 2018年予算案について説明があった。

杉江 Secretary より、旧東京支部の積立金は、積立金の性格上、当面の各支部の設立記念イベントをサポートし、残金は為替リスク等を踏まえ、その時点で使用法を検討するとの説明があった。また、今回集計した Section 支援費については、今後審議し確定すると説明があった。予算案は承認された。

11. その他

11-1 MGA SDEA 委員会の活動状況

資料(11-1)

南 MGA SDEA Member より報告があった。今後、企業会員として IEEE Corporate Membership の設立に向けた議論、Corporate Membership の価値や導入の課題について議論が行われるとの説明があった。引き続き注目していく必要がある。

11-2 国際会議の Technical Co-Sponsorship (TCS)に関する Fee について

資料(11-2)

杉江 Secretary より、11/18開催の MGA Board Meeting にて決定された方針の説明があった。

11-3 IEEE JC/東京支部の配信サーバについて

資料(11-3)

杉江 Secretary より報告があった。メール配信の不具合について、経緯、原因、今後の対応について説明があった。今後は、ブロック解除などの対応を適宜行うが、IEEE 本部のメールサービス「eNotice」をメインに使用する。

11-4 Sections Congress 2017 等参加報告

資料(11-4)

杉江 Secretary より、Sections Congress 2017 の会議概要、参加者の内訳、主な内容、

所感について報告があった。

11-5 IEEE R10 Meet、及び R10 50 Year Celebration Luncheon Ceremony 参加報告
資料(11-5)

杉江 Secretary より、IEEE R10 Meet の会議概要、参加者の内訳、主な内容、所感について報告があった。

配布資料：

- ・資料：「2018 IEEE WIE International Leadership Summit 」への Proposal について（資料 6-2）
- ・資料：信越支部会計報告（更新版）
- ・主要イベントのカレンダー
- ・IEEE 監査：Geographic Unit Checklist

以上